

2025 年度

外国人留学生

大学院学生募集要項

文学研究科〔男女共学〕

国語国文学専攻（修士課程）

心理学専攻（修士課程）

神戸松蔭大学大学院

（2025年4月 名称変更）

目 次

基本方針

文学研究科	1
国語国文学専攻	2
心理学専攻	3

募集要項

1. 募集人員	5
2. 出願資格	5
3. 入試日程	6
4. 出願手続	6
5. 試験科目および試験時間	7
6. 試験場	8
7. 合格者発表	8
8. 入学手続	8
9. 奨学金制度	9
10. 願書記入上の注意	9
11. 個人情報の取り扱いについて	9
12. 大学院入試に関する成績開示について	10
13. 身体に障がいのある入学志願者の受験について	10

大学院概要	
国語国文学専攻	11
心理学専攻	13

大学院入試結果	16
---------	----

基本方針

文学研究科

神戸松蔭大学大学院は、聖公会キリスト教主義に基づく人格形成を根本方針とし、文化の創造的発展と人類の福祉に寄与する人材を育成することを目的としている。本大学院は、この大きな目的のもとに次の基本方針を設定する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

神戸松蔭大学大学院は、次のような人が入学を志望することを期待する。

1. 知識・技能
 - ・各専攻の教育研究の目的を理解し、専門分野の研究を遂行するのに適した知識・学力の基礎を有し、さらに深い学識と高い研究能力・実践力を養う意欲を持つ人。
2. 思考力・判断力・表現力
 - ・各専攻分野において自ら問題点と課題を発見し、先行研究を含む多角的な観点からの判断力をもって解決にあたり、自らの知見を妥当な論理性をもって積極的に発表する表現力を持つ人。
3. 態度・志向性
 - ・研究の世界には多様な考え方があることを認識し、自分にとって未知の概念や思考法を学び吸収することに積極的な姿勢を持つ人。
 - ・自分が専攻しようとしている研究分野が人間の世界の中でどのような意味を持ち、どのように位置づけられるかを意識する、広い視野を持つ人。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

神戸松蔭大学大学院は、次のような方針で教育課程を編成し、実施する。

1. 教育課程編成の方針
 - ・専門的な学術理論および応用を研究教授し、深い学識と高い研究能力・実践力を養成するカリキュラムを編成する。
 - ・各専攻分野において、基礎的な知識・概念から高度に専門的な研究に導く体系的なカリキュラムを編成する。
2. 教育課程実施の方針
 - ・年度ごとに研究指導計画を示し、各専攻の指導方針を具体的に説明し、学位論文にいたるスケジュールを提示する。
 - ・各専攻分野において個人指導を重視し、授業以外の場においても積極的に指導を行い、また各専攻のすべての教員が学生一人ひとりの関心をもつ研究分野と進捗を把握する。
 - ・学生が設定する自らの研究計画・到達目標と、その達成の自己評価を指導に活用する。
3. 基礎的技能
 - ・各専攻分野で研究および成果の発表を行っていく上で必要な研究環境を整備し、それを使いこなす基礎的な技能を指導する。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

神戸松蔭大学大学院は、所定の年限以上在籍し、各専攻の授業を履修して必要な単位数を修得し、学位論文を提出してその審査および試験に合格した上で、次の要件を満たす者に学位を授与する。

1. 知識・理解
 - ・各専攻分野において、各自の研究対象を体系的かつ多角的に理解して高度な専門的知識に到達していることを妥当な論理性をもって表現できている。
 - ・自らの分野の専門性を深めるだけでなく、その研究分野が世界の中でどのような意味を持ち、どのような位置づけができるかを理解し、説明できる。
2. 汎用的技能
 - ・自らの研究分野だけでなく、他の研究分野、さらに一般社会においても有用な研究上の技能を身につけている。
 - ・自らの知見を、内容が論理的に妥当であるだけでなく、各専攻分野で認められている形式に則って表現し、その分野の専門家以外の人にも理解できる文章で伝えることができるコミュニケーション能力を身につけている。
3. 態度・志向性

- ・学位の取得にとどまらず、一生涯を通して自らにとって新しい知識や知見を求めつづける態度を持っている。
 - ・自らの研究成果が世界の健全な発展に寄与できる可能性を常に意識している。
4. 研究倫理
- ・人を対象とする研究分野においては、人権・人格を何よりも尊重し、関係する法令を十分に理解し、これを遵守する。
 - ・研究倫理を深く理解し、データの取り扱い、個人情報保護、文献や資料の引用、研究成果の発表の仕方などにおいて研究倫理に反することがないように、日常的に意識を持つ。

国語国文学専攻

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国語国文学専攻は、次のような人が入学志望することを期待する。

1. 知識・技能
 - ・国語国文学専攻の教育研究の目的を理解し、日本語学、日本語教育および日本文学の研究を遂行するのに適した基礎学力を有している人。
 - ・高度な学識と専門分野での研究能力・実践力を養う強い探求心と学修意欲を有している人。
2. 思考力・判断力・表現力
 - ・広い視野に立ち、自ら問題点と課題を発見し、先行研究を含む多角的な観点からの判断力を持って解決にあたる人。
 - ・自らの知見を創造的な思考と妥当な論理性を持って積極的に発表する表現力を持つ人。
3. 態度・志向性
 - ・広い視野を持って学び吸収することに不断の努力を惜しまない積極的な姿勢を持ち、研究者、教育者として社会に貢献することを目指している人。
 - ・国語国文学専攻で学ぶことが社会の中でどのような意味を持ち、どのように位置づけられるかを意識し、世界に向けて日本語、日本文学、日本文化を発信しようとする意欲のある人。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

国語国文学専攻は、次のような方針でカリキュラムを編成し、実施する。

1. 教育課程編成の方針
 - ・日本語学、日本語教育および日本文学の3系統の授業を提供し、高度で専門的な学術的研究を可能にする。
 - ・日本語学系統においては、古代から近代、現代までの日本語を対象とする。幅広く、音韻、文法、語彙、意味、言語運用などの諸分野の研究をなす。また、他言語との対照研究も視野に入れる。
 - ・日本語教育系統においては、目標言語である母語話者の日本語、あるいは日本語学習者の日本語を対象とする。幅広く、音韻、文法、語彙、意味、言語運用などの諸分野と日本語教育の実践との関連づけを視野に入れ、多角的な研究をなす。
 - ・日本文学系統においては、古代（上代・中古・中世）から近代（近世・近代・現代）の散文と韻文、戯曲を対象とする。幅広く関連する時代分野を積極的に学びながら、歴史や芸術、諸外国の文学なども視野に入れ、多角的な研究をなす。
2. 教育課程実施の方針
 - ・各専門分野で個人指導をなすとともに、全教員による集団指導を行い、修士論文の中間発表や最終試問を実施する。
3. 基礎的技能
 - ・研究および成果の発表を行っていく上で必要な研究環境を整備し、それを使いこなす基礎的な技術を指導する。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

国語国文学専攻は、修士の学位を取得するにあたって、次の要件を満たすことを求める。

1. 知識・理解
 - ・日本語学、日本語教育および日本文学の各分野において、十分な知識を有し、体系的な理解力を身に付ける。
 - ・日本語学、日本語教育もしくは日本文学の分野において、高度で専門的な知識を獲得し、国際化の時代に即応した研究を進めることができる。
2. 汎用的技能
 - ・諸課題を解決し、他者とのコミュニケーションを図る過程で、説得性のある論理的な文章を構成する力を身に付ける。
 - ・自ら設定した課題について、先行研究を的確に把握した上で独創的な知見を示すことができる。
3. 態度・志向性
 - ・自らの思考、認識を的確に把握し、それを専門的な研究に生かす積極性を保持する。
 - ・高度な専門知識を備えた人材として、粘り強く学術的成果を社会へ発信する。
4. 研究倫理
 - ・人を対象とする研究分野においては、人権・人格を何よりも尊重し、関係する法令を十分に理解し、これを遵守する。
 - ・研究倫理を深く理解し、データの取り扱い、個人情報の保護、文献や資料の引用、研究成果の発表の仕方などにおいて研究倫理に反することがないよう、日常的に意識を持つ。

心理学専攻

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

心理学専攻は、次のような人が入学を志望することを期待する。

* 臨床心理学コース

1. 知識・技能
 - ・専門課程における学習や訓練を遂行するための臨床心理学の基礎的な知識、学力を有し、心理臨床の専門家および研究者として必要な深い学識と高い研究能力・実践力を養う意欲を持つ人。
2. 思考力・判断力・表現力
 - ・心理臨床の専門家および研究者としての視点から、自ら問題点と課題を発見し、先行研究を含む多角的な観点からの判断力をもって解決にあたる人。
 - ・自らの知見を妥当な論理性をもって積極的に発表する表現力を持つ人。
3. 態度・志向性
 - ・対人援助において不可欠である倫理観を備え、心理臨床の専門家として他職種と協働できる社会性を有する人。
 - ・心理臨床の専門家および研究者として社会に貢献するという強い目的意識を持つ人。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

心理学専攻は、次のような方針でカリキュラムを編成し、実施する。

* 臨床心理学コース

1. 教育課程編成の方針
 - ・臨床心理士ならびに公認心理師を養成するためのコースであり、心理臨床の専門家として、臨床心理査定、臨床心理面接、臨床心理的地域援助、およびこれらに関する調査・研究を遂行し得る知識や技能、および高い倫理性を養うことを目指す。
 - ・講義科目、演習科目、実習科目に加えて、修士論文作成のための個別指導を受ける科目を設定する。実習には、大学附属の相談機関（神戸松蔭こころのケア・センター）において来談者に対して心理臨床的援助を提供することや、学外における協力施設での実習などが含まれる。
2. 教育課程実施の方針
 - ・年度ごとに学修指導および臨床訓練に関するガイドラインを具体的に説明し、修士論文の提出にいたるスケジュールを提示する。
 - ・各専門分野で修士論文作成のための個別指導を行うとともに、修士論文の中間発表や最終試問を実施する。

3. 基礎的技能

- ・学内外の実習を通して、心理臨床的援助を行うための専門的知識と技能、多職種との協働性、および高い倫理性を身につけることができるよう指導する。
- ・各専門分野で研究および成果の発表を行っていく上で必要な環境を整備し、研究倫理を遵守しつつ適切な手法を用いて研究を遂行できる能力を養う。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

心理学専攻では、所定の単位を修得し、修士論文審査および試問に合格し、次の能力を身につけたと判断された者に対して、修士（心理学）の学位を授与する。

* 臨床心理学コース

1. 知識・理解

- ・臨床心理学および心理学全般に関する体系的な知識を修得している。
- ・体系的な臨床心理学的知識に基づき、具体的な心理的問題を理解することができる。

2. 汎用的技能

- ・心理的問題に関して適切な手法を用いて心理査定や調査研究を行うことができる。
- ・心理査定に基づき具体的な心理臨床的援助を行うことができる。

3. 態度・志向性

- ・心理臨床の専門家としての高い倫理性をもって対人援助に関わることができる。
- ・自らの専門性に基づき他職種との間で必要な協力関係を築くことができる。

4. 研究倫理

- ・人を対象とする研究分野であることを常に自覚し、人権・人格を何よりも尊重し、関係する法令を十分に理解し、これを遵守する。
- ・研究倫理を深く理解し、データの取り扱い、臨床場面における個人情報、文献や資料の引用、研究成果の発表の仕方などにおいて研究倫理に反することがないように、日常的に意識を持つ。

2025 年度 修士課程 外国人留学生募集要項

1. 募集人員（修士課程）

研究科名	専攻名	募集人員（社会人を含む）
文学研究科	国語国文学専攻	5 名
	心理学専攻 臨床心理学コース	10 名

2. 出願資格

I. 外国の国籍を有し（出入国管理および難民認定法に定める別表第2の在留資格者を除く）、次の各号の一つに

該当する者（男女を問わない）。

- (1) 大学を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者。
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者、または2025年3月までに授与される見込みの者。
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2025年3月までに修了見込みの者。
- (4) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
- (5) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）。
- (6) 大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと、本大学院が認めた者。
- (7) 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で、本大学院における個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。ただし、2003年4月1日以前に生まれた者。

- (注) 1. 出願資格の(3)、(4)、(5)の該当者は、出願期間前に必ず本学教務課にご連絡ください。
2. 出願資格(6)および、(7)により、個別の「入学資格審査」を希望する場合は、所定の期日までに申し出て ください。

II. 入学資格審査

上記出願資格の(6)、(7)の該当者は、事前に本学において実施する入学資格審査（無料）を受けて、本大学院が適当と認めた場合に限り、本試験の受験資格を認めます。

(ア) 入学資格審査の方法 : 書類審査、必要に応じて面接を実施

(イ) 提出書類 :

- ① 「入学資格審査申込書」
- ② 出身校（短大等）発行の「卒業証明書」
- ③ 出身校（短大等）発行の「成績証明書」
- ④ 学力を示す「資格、免許、経歴等」の取得を裏付ける書類のコピー
- ⑤ 返信用封筒（必要分の切手貼付）

(ウ) 入学資格審査申込締切日 [秋季] 2024年7月16日（火）必着
[春季] 2024年12月2日（月）必着

(エ) 審査結果の通知 通知書を以下の日までに発送
[秋季] 2024年7月26日（金）
[春季] 2024年12月13日（金）

3. 入 試 日 程

	出 願 期 間	試験日	合格発表日	入学手続期間
秋季	2024年8月19日(月)～8月27日(火) 郵送:8月26日(月) 消印有効 持参:8月27日(火) 16時30分締切	2024年 9月7日 (土)	2024年 9月11日 (水)	一次手続(入学金納入) 2024年9月12日(木)～9月30日(月) 二次手続(校納金納入) 2025年2月17日(月)～2月28日(金)
春季	2025年1月14日(火)～1月28日(火) 郵送:1月27日(月) 消印有効 持参:1月28日(火) 16時30分締切	2025年 2月11日 (祝・火)	2025年 2月17日 (月)	(入学金・校納金納入) 2025年2月17日(月)～2月28日(金)

4. 出 願 手 続

(1) 出願書類等

a. 入学願書(本学所定用紙)

- ①「写真票」の所定の位置に正面上半身の写真(1枚)を貼付すること。
- ②「検定料払込証明書貼付票」に納付済みの「払込票兼受領証(原本)」を貼付すること。
手元に控が必要な場合はコピーをとっておいてください。

b. 最終出身学校の卒業(見込)証明書または修了証明書

c. 最終出身学校の成績証明書

d. 最終出身学校長(または所属機関の長)が発行する推薦書(本学所定用紙)

e. 履歴書(本学所定用紙)

f. 日本語能力を証明する書類:

- ・日本語能力証明書(本学所定用紙)
- ・日本語能力試験1級の受験結果(3年以内)の写し(国語国文学専攻志願者のみ)

[参考]日本語能力試験についての問い合わせ先

<https://www.jlpt.jp/contact/index.html>

よくある質問 <https://www.jlpt.jp/faq/index.html>

g. 住民票の写しまたは住民票記載事項証明書(日本国内に居住している志願者のみ)

h. パスポートの写し(日本国内に居住している志願者のみ)

i. 受験票等の返送先記入用紙(受験票・合否結果を受け取る返送先住所・氏名を記入してください。)

j. 研究計画書(本学所定用紙)

対 象 者	用 紙	摘 要
国語国文学専攻を志望する者	本学所定用紙 (A4判)	志望動機、入学後の研究計画を具体的に書くこと。 約1,000字(日本語で書くこと)
心理学専攻を志望する者	本学所定用紙 (A4判)	志望動機、入学後に学びたい点、研究テーマ、研究計画を書くこと。 約1,000字(日本語で書くこと)

k. 卒業論文(写)またはそれに代わるもの

対 象 者	用 紙	摘 要
任意提出	任 意 (可能ならばA4判 とすること)	卒業論文(写)または志願者が選ぶ論文1編。 (既・未発表を問わない)

1. その他の資料・・・注) 任意提出

- ・推薦状(形式自由)
- ・心理学専攻では、日本心理学諸学会連合認定「心理学検定結果通知書」のコピー。
直近5ヶ年(2020年以降)実施分対象。

(注) 1. 出願書類のうち、本学所定用紙が指定されている場合は、本学公式ウェブサイトからダウンロードして印刷したものを使用すること。

2. 日本語・英語以外で書かれた証明書、文書等には、日本語訳を添付のこと。

3. 記載事項または申告に虚偽の事実が発覚したときは入学を取り消すことがある。

4. 入学手続き時に、身元保証人による在学中の身元保証書（本学所定用紙）を提出すること。
保証人は次のいずれかによること。

- ①日本国内に在住する日本人 ②日本に永住する外国人（在留資格「永住者」）

(2) 入学検定料および納入方法

入学検定料 30,000円

納入方法 郵便局標準の振込用紙にて、下記に注意し郵便局から払い込んで下さい。(ATM不可)

- (注) 1. 口座番号：01190-2-58209、加入者名：神戸松蔭女子学院大学 宛に払い込んで下さい。
2. 振込金額は30,000円、取扱手数料はご負担ください。
3. 「払込取扱票」の通信欄に“大学院修士課程”とご記入ください。
4. 「振替払込請求書兼受領証」(原本)を「検定料払込証明書貼付票」に貼付し出願してください。「振替払込請求書兼受領証」(原本)が貼付されていない場合や、「振替払込請求書兼受領証」(原本)に受付郵便局日付印のないものは無効です。
5. 手元に控が必要な場合は、コピーをとっておいてください。

(3) 出願方法

(1)の出願書類一式を『大学院出願書類』と明記した封筒に入れ、簡易書留速達郵便にて提出してください。

(出願期間最終日消印有効。※ただし国外から出願する場合は必着とし、出願期間前でも願書を受理する。)

- (注) 1. やむを得ず郵送できない場合は、直接教務課窓口で受け付け致しますが、その場合でも検定料は事前に払い込んでください。 窓口受付時間＝平日のみ 9:00～16:30
2. 一旦提出された書類および払い込まれた入学検定料は、原則として返還いたしません。返還請求ができる理由は(4)を参照。

(4) 入学検定料の返還請求について

入学検定料の返還請求ができるのは、以下の場合のみです。それ以外の場合は、いかなる理由があっても一旦払い込んだ入学検定料は返還いたしません。

- ①入学検定料を払い込んだが本学に出願書類を提出しなかったあるいは出願が受理されなかった場合。
②入学検定料を二重に払い込んだ場合。
③入学検定料の払い込み金額を誤った場合。

返還請求方法については、(5)記載の問い合わせ先までご連絡ください。

(5) 出願・問い合わせ先 〒657-0015 神戸市灘区篠原伯母野山町1-2-1

神戸松蔭女子学院大学 教務課 大学院係 (TEL:078-882-6133)

5. 試験科目および試験時間

科目および時間	外国語筆記試験	専門科目筆記試験	口頭試験
専攻	9:30～10:30	10:50～12:30	13:30～
国語国文学専攻	英語 古典日本語 日本語(小論文) ※いずれかを選択	専攻分野に関連した問題	研究計画等について口頭試験
心理学専攻	英語	専攻分野に関連した問題	研究計画等について口頭試験

(注) 1. 国語国文学専攻においては、TOEFL iBT 100点以上 (PBT 600点以上) もしくは TOEIC 900点以上の者は、外国語筆記試験を免除します。(該当する場合は、出願時に TOEFL、TOEIC の成績証明書を提出してください。)

2. 外国語筆記試験(英語)は、1冊に限って辞書の持ち込み可。(電子辞書不可)

3. 国語国文学専攻志願者は、入学願書、受験票の選択受験科目欄(一般選抜外国語)の該当する科目を○で囲んでください。ただし、英語を母語とする者は古典日本語か日本語(小論文)を選択してください。

4. 心理学専攻では、入試判定の際に日本心理学諸学会連合認定「心理学検定」の合格科目数に応じた加点を行います。直近5ヵ年の結果が対象となります。
(該当する場合は、出願時に対象となる「心理学検定結果通知書」(2019年以降実施分)全てのコピーを提出してください。)

<受験に際しての注意事項>

- (1) 受験票は必ず携行してください。紛失や忘れた場合は、教務課に申し出てください。
- (2) 試験開始15分前までに試験場に入室・着席してください。
- (3) 試験開始後30分以上遅刻した場合は、受験することができません。
- (4) 不正行為者は全科目を無効とします。
- (5) 昼食は、各自でご用意願います。(試験当日、食堂は営業していません。)

6. 試験場

神戸松蔭女子学院大学 (試験室は、当日正門守衛室前に掲示します)

7. 合格者発表

- (1) 合格発表は「合否通知」の郵送により行います。(志願者全員に合否通知文書を発表日当日に速達で発送します。)
 - (2) 合格者に対しては、合格通知書と入学書類を送付します。
 - (3) 不合格者には判定結果通知文書を郵送します。
- (注) 1. 合格発表の3日後までに通知が届かない場合は、教務課に連絡してください。
2. 電話による合否のお問い合わせはお断りいたします。

8. 入学手続

- (1) 合格者には合格通知書とともに書類を送付します。所定の期日までに入学手続きを完了してください。入学手続きを完了した者に、入学許可書を交付します。
- (2) 学費および入学手続時の校納金 (2025 年度)

区分	事項	金額	納入期日
国語国文学専攻	入学金	200,000 円	入学手続時
	授業料	480,000 円(年額)	前・後期 2 回
	教育充実費	40,000 円(年額)	前・後期 2 回
	同窓会費	5,000 円(年額)	入学手続時
	研究会費	5,000 円(年額)	入学手続時
	合計	730,000 円	
臨床心理学コース 心理学専攻	入学金	200,000 円	入学手続時
	授業料	480,000 円(年額)	前・後期 2 回
	教育充実費	40,000 円(年額)	前・後期 2 回
	実習費	140,000 円(年額)	前・後期 2 回
	同窓会費	5,000 円(年額)	入学手続時
	研究会費	5,000 円(年額)	入学手続時
合計	870,000 円		

- (3) 所定の期間内に書類の提出および校納金の納入等所定の手続きを行わない場合は、入学の意思がないものと認め、合格を取り消します。
- (4) 学費返還について
入学手続き完了後、学費返還を希望する者は、秋季・春季いずれの場合も「入学辞退届」および「学費等返還願書」を2025年3月31日(月)16時までに提出し手続きをすれば、入学金を除く入学時校納金を返還します。

9. 奨学金制度

大学院留学生を対象とした、本学独自の「大学院留学生給付奨学金制度」があります。採用された場合の奨学金は年間校納金(授業料、教育充実費)の2分の1に相当する額を給付します。奨学生として採用される期間は当該年度限りですが、引き続き奨学金給付を希望する者は、次年度以降も再申請することができます。ただし、本学独自の姉妹等奨学金、学外の給付奨学金の受給者となった時、前述の大学院留学生給付奨学金と重複受給することはできません。

10. 願書記入上の注意

「入学願書」「写真票」「検定料払込証明書貼付票」「受験票」は、太枠で囲まれた記入欄内に必要事項を黒ボールペン(消せるボールペンは不可)で記入して、切り離さずに提出してください。誤って記入した場合は、訂正すべき箇所に二重線を引き、その上に訂正印を押して、正しい内容を書き加えてください(修正テープ等は使用しないでください)。

(1) 入学願書

- ① 入試時期 秋季・春季のいずれか該当する方を○で囲んでください。
 - ② 専攻名 志望する専攻名を記入してください。
 - ③ 入試区分 該当する入試区分を○で囲んでください。
 - ④ 氏名 姓名を楷書で記入し、フリガナをカタカナで記入してください。
 - ⑤ 生年月日 西暦で記入。
 - ⑥ 性別 該当する性別を○で囲んでください。
 - ⑦ 選択受験科目(国語国文学専攻志願者のみ記入)
 - ・一般選抜外国語…… 国語国文学専攻志願者は、「英語」「古典日本語」「日本語(小論文)」のいずれかを選択して、○で囲んでください。
- (注) 国語国文学専攻志願者は、受験票の選択受験科目欄にも同様に記入すること。
- ⑧ 現住所 都道府県名から記入してください。郵便番号、電話番号も記入。
 - ⑨ 帰省先 帰省先の住所・電話番号を、現住所欄と同じ要領で記入してください。
 - ⑩ 出身大学 最終の出身大学名、学部・学科名と、卒業(見込)年月(西暦)を記入。国名、国公私立の別も記入してください。卒業・卒業見込は、該当する方を○で囲んでください。
 - ⑪ 学歴・職歴 学歴の卒業・卒業見込は、該当する方を○で囲んでください。
 - ⑫ 卒業論文題目 記入は任意。

(2) 写真票

- ① 専攻 志望する専攻名を記入してください。
- ② 氏名 姓名を楷書で記入し、フリガナをカタカナで記入してください。
- ③ 写真貼付欄 縦4cm×横3cm、正面・上半身、脱帽で3か月以内に撮影の写真1枚を貼付してください。写真の裏面に、志望専攻名・氏名を記入のこと。

(3) 検定料払込証明書貼付票

- ① 氏名 姓名を楷書で記入し、フリガナをカタカナで記入してください。
- ② 払込票兼受領証貼付欄 郵便局で払込済の証明を受けた原本を貼付してください。

(4) 受験票

- ① 氏名 姓名を楷書で記入し、フリガナをカタカナで記入してください。
- ② 専攻 志望する専攻名を記入してください。
- ③ 選択受験科目(国語国文学専攻志願者のみ記入。心理学専攻志願者は記入不要。) 入学願書の選択受験科目欄の記入と同じ内容となるよう、該当する科目名を○で囲んでください。

(5) 受験票等の返送先記入用紙 受験票、合否通知を受け取る返送先住所・氏名を記入してください。

11. 個人情報の取り扱いについて

志願票にご記入いただいた個人情報につきましては、本学の入学試験実施および入学手続に係る目的以外には使用いたしません。

12. 大学院入試に関する成績開示について

本学が実施する2025年度大学院入試に関する個人成績の開示を下記のとおり申請することができます。

(1) 申請できる者

2025年度大学院入試の受験者本人に限ります。個人情報保護の観点から、代理申請は受け付けません。過年度入試の開示申請には応じません。

(2) 開示内容

申請のあった大学院入学試験における申請者の個人総合点、および満点。

(3) 申請方法

神戸松蔭女子学院大学 教務課に、以下の書類をそろえて郵送または直接持参により申請してください。

① 大学院入学試験成績開示申請書（本学公式ウェブサイトからダウンロードしてください。）

② 受験票（原本）

③ 本人が確認できる書類（運転免許証等の写真入りのもの。郵送の場合はコピー可。）

④ 切手860円分（送料110円、一般書留480円、本人限定受取270円）

郵送の場合は、封筒の表面に「大学院入試成績開示申請」と朱書きして、必ず「簡易書留」郵便としてください。

(4) 申請受付

【受付期間】

秋季：2024年9月12日（木）～9月30日（月）[消印有効]

春季：2025年2月18日（火）～2月28日（金）[消印有効]

【申請先】

〒657-0015 神戸市灘区篠原伯母野山町1-2-1

神戸松蔭女子学院大学 教務課 大学院係

※直接来学の場合は教務課（本館3階西側）へお越しください。受付時間は月曜から金曜の午前9時から午後5時までです。

(5) 開示方法

申請書に記載の送付先・受験者本人宛に、「大学院入学試験成績開示回答書」（本学所定の様式）を書留郵便

便

（本人限定受取郵便）により送付します。

申込から入学試験成績開示回答書の送付までに2週間程度かかることがありますので、ご了承ください。

13. 身体に障がいのある入学志願者の受験について

入学試験時に特に配慮が必要な場合は、それぞれの試験日の2ヵ月前までに、「受験上の配慮申請書（大学院）」にご記入のうえ、教務課へご相談ください。

※肢体不自由が原因である場合は、本学所定「診断書（肢体不自由関係）」を必ず添付してください。

※肢体不自由以外の原因である場合は、必要に応じ、状況を説明する診断書の提出を求められます。

※期限後の申し出については、対応できない場合がありますので、ご了承ください。

14. ノートパソコン必携化について

2024年度より本学では学生が自分自身のパソコンを常に携行して学ぶBYOD（Bring Your Own Device）に移行しています。入学時には携帯可能なノートパソコンが必要になりますのでご準備ください。

大 学 院 概 要

文学研究科

■国語国文学専攻（修士課程）

国語国文学専攻は、国語国文学に関する伝統的な学問領域を対象として、それをより深く研究し、その成果と研究方法を身につけることを目指す。

授業科目

	授 業 科 目	配当 年次		開講 区分	単 位 数	担 当 者 (予定)	備 考	
		1 年	2 年					
必修科目	国語国文学特別研究		○	通年	4	黒木 邦彦 池谷 知子 田附 敏尚	左記のうち2名が担当 (学生の研究内容に拠る)	
選択必修科目	日 本 文 学	◆日本文学特殊講義A	○	○	前期	2	担当者未定	隔年開講
		◆日本文学特殊講義B	○	○	後期	2	担当者未定	隔年開講
		日本文学演習A	○	○	前期	2	担当者未定	隔年開講
		日本文学演習B	○	○	後期	2	担当者未定	隔年開講
		◆日本文学史特殊講義A	○	○	前期	2	長谷川 佳男	隔年開講
		◆日本文学史特殊講義B	○	○	後期	2	長谷川 佳男	隔年開講
		日本文化演習A	○	○	前期	2	長谷川 佳男	隔年開講
		日本文化演習B	○	○	後期	2	長谷川 佳男	隔年開講
	日 本 語 学	◆日本語学特殊講義ⅠA	○	○	前期	2	黒木 邦彦	古典語 隔年開講
		◆日本語学特殊講義ⅠB	○	○	後期	2	黒木 邦彦	古典語 隔年開講
		日本語学特殊講義ⅡA	○	○	前期	2	田附 敏尚	現代語 隔年開講
		日本語学特殊講義ⅡB	○	○	後期	2	田附 敏尚	現代語 隔年開講
		日本語学演習ⅠA	○	○	前期	2	黒木 邦彦	古典語 隔年開講
		日本語学演習ⅠB	○	○	後期	2	黒木 邦彦	古典語 隔年開講
		◆日本語学演習ⅡA	○	○	前期	2	田附 敏尚	現代語 隔年開講
		◆日本語学演習ⅡB	○	○	後期	2	田附 敏尚	現代語 隔年開講
	日 本 語 教 育	◆日本語教育特殊講義ⅠA	○	○	前期	2	池谷 知子	日本語の構造 隔年開講
		◆日本語教育特殊講義ⅠB	○	○	後期	2	池谷 知子	日本語の構造 隔年開講
		日本語教育演習ⅠA	○	○	前期	2	池谷 知子	言語と教育 隔年開講
		日本語教育演習ⅠB	○	○	後期	2	池谷 知子	言語と教育 隔年開講
		日本語教育特殊講義ⅡA	○	○	前期	2	F. Shiobara	言語習得・異文化理解 隔年開講
		日本語教育特殊講義ⅡB	○	○	後期	2	F. Shiobara	言語習得・異文化理解 隔年開講
		◆日本語教育演習ⅡA	○	○	前期	2	松田 謙次郎	言語と社会・言語と情報 隔年開講
		◆日本語教育演習ⅡB	○	○	後期	2	松田 謙次郎	言語と社会・言語と情報 隔年開講

◆印は 2025 年度不開講

修了要件・履修方法

- ・修了要件 所定の授業科目について 32 単位以上を取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。
- ・履修方法 ① 必修科目 4 単位：「国語国文学特別研究（論文指導）」通年、2 年次配当。
② 選択必修科目 12 単位以上：日本文学系統、日本語学系統、日本語教育系統の中の 1 分野から 8 単位以上。残りの 2 分野から各 2 単位以上。
③ ①②を含み、上表の任意の科目、および他専攻・神戸大学大学院での開講科目から、合計 32 単位以上。
*ただし、他専攻・神戸大学大学院での開講科目履修は 8 単位を越えてはならない。

授業担当者

教 授

池 谷 知 子 日本語教育特殊講義ⅠA、日本語教育特殊講義ⅠB、日本語教育演習ⅠA、日本語教育演習ⅠB
国語国文学特別研究

長谷川 佳男 日本文学史特殊講義A、日本文学史特殊講義B、日本文化演習A、日本文化演習B

松田 謙次郎 日本語教育演習ⅡA、日本語教育演習ⅡB

准教授

黒木 邦彦 日本語学演習ⅠA、日本語学演習ⅠB、日本語学特殊講義ⅠA、日本語学特殊講義ⅠB
国語国文学特別研究

田 附 敏 尚 日本語学特殊講義ⅡA、日本語学特殊講義ⅡB、日本語学演習ⅡA、日本語学演習ⅡB
国語国文学特別研究

Frances Shiobara 日本語教育特殊講義ⅡA、日本語教育特殊講義ⅡB

担当者未定 日本文学特殊講義A、日本文学特殊講義B、日本文学演習A、日本文学演習B

(2024年6月現在)

■心理学専攻（修士課程）

心理学専攻には、臨床心理士ならびに公認心理師の養成を目的とした「臨床心理学コース」がある。

1. 臨床心理学コース

臨床心理学コースでは、実務能力の高い臨床心理士ならびに公認心理師の養成を目指す。そのために、臨床心理査定、臨床心理面接、臨床心理的地域援助、心の健康教育などの技法や心理臨床的研究の方法を実践的に身につけていくとともに、臨床心理学を中心とした関連分野の知識を学んでいく。

【臨床心理学コース】授業科目

	授業科目	配当年次		開講区分	単位数	担当者（予定）	分類	公認心理師 カリキュラム番号	備考
		1年	2年						
必修科目	臨床心理学特論A	○		前期	2	大和田 攝子	必修		
	臨床心理学特論B	○		後期	2	小松 貴弘	必修		
	臨床心理基礎実習	○		通年	2	※1	必修		
	臨床心理査定演習Ⅰ （心理的アセスメントに関する理論と実践）	○		前期	2	黒崎 優美	必修	⑥	
	臨床心理査定演習Ⅱ	○		後期	2	中村 博文	必修		
	臨床心理面接特論Ⅰ （心理支援に関する理論と実践）	○		前期	2	中村 博文	必修	⑦	
	臨床心理面接特論Ⅱ	○		後期	2	小松 貴弘	必修		
	心理実践実習Ⅰ	○		通年	4	※1	必修	⑩	
	臨床心理実習Ⅰ （心理実践実習Ⅱ）		○	通年	6	※2	必修	⑩	
	臨床心理実習Ⅱ		○	通年	2	※2	必修		
	心理学特別研究		○	通年	4	※3	A群 （必修）		
選択必修科目	心理学研究法特論A	○		前期	2	待田 昌二	A群		
	心理学研究法特論B	○		後期	2	土肥 伊都子	A群		
	発達心理学特論	○	○	前期	2	久津木 文	B群		
	認知発達心理学特論	○	○	前期	2	久津木 文	B群		
	◆認知神経心理学特論	○	○	前期	2	鳥居 さくら	B群		隔年開講
	社会心理学特殊研究	○	○	後期	2	土肥 伊都子	C群		
	社会心理学特論	○	○	前期	2	土肥 伊都子	C群		
	精神医学特論 （保健医療分野に関する理論と支援の展開）	○	○	集中	2	黒田 綾 首藤 由江 水野 泰行	D群	①	
	臨床薬理学特論	○	○	集中	2	坂上 元祥 菱本 明豊	D群		
	認知行動療法特論 開講	○	○	集中	2	巢黒 慎太郎	E群		隔年開講
	グリーンケア特論	○	○	後期	2	大和田 攝子	E群		
	◆児童臨床特論 （福祉分野に関する理論と支援の展開）	○	○	集中	2	竹田 駿介	F群	②	隔年開講
	学校臨床心理学特論 開講 （教育分野に関する理論と支援の展開）	○	○	前期	2	黒崎 優美	F群	③	隔年開講
	司法・犯罪心理学特論 開講 （司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	○	○	集中	2	浅田 慎太郎	F群	④	隔年開講
産業・労働心理学特論 開講 （産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	○	○	後期	2	金丸 由佳里	F群	⑤	隔年開講	

選択必修科目	家族療法・ブリーフセラピー特論 (家族関係・集団・地域社会 における心理支援に関する 理論と実践)	○	○	後期	2	坂本 真佐哉	F群	⑧	
	心理教育特論 (心の健康教育に関する理論 と実践)	○	○	後期	2	山本 竜也	F群	⑨	
	臨床心理学特別研究A☆	○		前期	2	※3	F群		
	臨床心理学特別研究B☆	○		後期	2	※3	F群		

◆印は 2025 年度不開講

注)

F 群科目は選択必修科目であるが、☆マークのついている科目は、1 年次に全員履修することが望ましい。

<担当者>

※1 大和田 攝子、中村 博文、山本 竜也

※2 小松 貴弘、坂本 真佐哉、黒崎 優美

※3 大和田 攝子、小松 貴弘、坂本 真佐哉、中村 博文、黒崎 優美、山本 竜也

修了要件・履修方法

・修了要件

所定の授業科目について42単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。

・履修方法

① 必修科目30単位

② 選択必修科目の分類A群4単位, B, C, D, E 群からそれぞれ2単位以上の計12単位以上

③ 上記①、②を含み合計42単位以上を修得しなければならない。

授業担当者

教授

大和田 攝子	心理学特別研究、臨床心理学特論A、臨床心理基礎実習、心理実践実習Ⅰ、グリーフケア特論、臨床心理学特別研究A、臨床心理学特別研究B
久津木 文	発達心理学特論、認知発達心理学特論
小松 貴弘	心理学特別研究、臨床心理学特論B、臨床心理面接特論Ⅱ、臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅱ）、臨床心理実習Ⅱ、臨床心理学特別研究A、臨床心理学特別研究B
坂上 元祥	臨床薬理学特論
坂本 真佐哉	心理学特別研究、臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅱ）、臨床心理実習Ⅱ、臨床心理学特別研究A、臨床心理学特別研究B、 家族療法・ブリーフセラピー特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）
土肥 伊都子	心理学研究法特論B、社会心理学特論、社会心理学特殊研究
鳥居 さくら	認知神経心理学特論
待田 昌二	心理学研究法特論A

准教授

黒崎 優美	心理学特別研究、臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）、臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅱ）、臨床心理実習Ⅱ、 学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）、臨床心理学特別研究A、臨床心理学特別研究B
中村 博文	心理学特別研究、臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）、臨床心理査定演習Ⅱ、臨床心理基礎実習、心理実践実習Ⅰ、臨床心理学特別研究A、臨床心理学特別研究B

講師

山本 竜也	心理学特別研究、臨床心理基礎実習、心理実践実習Ⅰ、臨床心理学特別研究A、臨床心理学特別研究B 心理教育特論（心の健康教育に関する理論と実践）
-------	---

非常勤講師

浅田 慎太郎	司法・犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）
金丸 由佳里	産業・労働心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）
黒田 綾	精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）
首藤 由江	精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）
巢黒 慎太郎	認知行動療法特論
竹田 駿介	児童臨床特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）
菱本 明豊	臨床薬理学特論
水野 泰行	精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）

（2024年6月現在）

大 学 院 入 試 結 果

神戸松蔭女子学院大学大学院

【2024 年度 修士課程】

		一般選抜<留学生含む>			社会人特別選抜			合 計		
		受験者数	合格者数	入学者数	受験者数	合格者数	入学者数	受験者数	合格者数	入学者数
国語国文学 専攻	男									
	女	4 (3)	2 (2)	2 (2)				4 (3)	2 (2)	2 (2)
	計	4 (3)	2 (2)	2 (2)				4 (3)	2 (2)	2 (2)
心理学専攻	男	1	1	1				1	1	1
	女	20 (8)	9 (2)	7 (1)	1 ()			21 (8)	9 (2)	7 (1)
	計	21 (8)	10 (2)	8 (1)	1 ()			22 (8)	10 (2)	8 (1)
合 計	男	1	1	1				1	1	1
	女	24 (11)	11 (4)	9 (3)	1 ()			25 (11)	11 (4)	9 (3)
	計	25 (11)	12 (4)	10 (3)	1 ()			26 (11)	12 (4)	10 (3)

(注) 秋季入試・春季入試の合計数を記載。() 内の数字は、本学出身者で内数。

【2023 年度 修士課程】

		一般選抜<留学生含む>			社会人特別選抜			合 計		
		受験者数	合格者数	入学者数	受験者数	合格者数	入学者数	受験者数	合格者数	入学者数
国語国文学 専攻	男									
	女	1 (1)	1 (1)	1 (1)				1 (1)	1 (1)	1 (1)
	計	1 (1)	1 (1)	1 (1)				1 (1)	1 (1)	1 (1)
心理学専攻	男	1						1		
	女	22 (17)	12 (8)	9 (7)				22 (17)	12 (8)	9 (7)
	計	23 (17)	12 (8)	9 (7)				23 (17)	12 (8)	9 (7)
合 計	男	1						1		
	女	23 (18)	13 (9)	10 (8)				23 (18)	13 (9)	10 (8)
	計	24 (18)	13 (9)	10 (8)				24 (18)	13 (9)	10 (8)

(注) 秋季入試・春季入試の合計数を記載。() 内の数字は、本学出身者で内数。

【問い合わせ先】

神戸松蔭女子学院大学 教務課 大学院係

〒657-0015 神戸市灘区篠原伯母野山町 1-2-1

TEL 078-882-6133

FAX 078-882-6155